

我々は一体何に対して
コストを払っているのか

多くの人が誤解している…!?!
『アクティブファンドの正体』

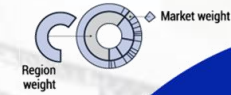
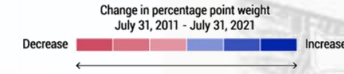


FLYING ACE ACADEMY

資産形成チャンネル



Below, we show a breakdown of the index by market and region, as well as its changes over time.

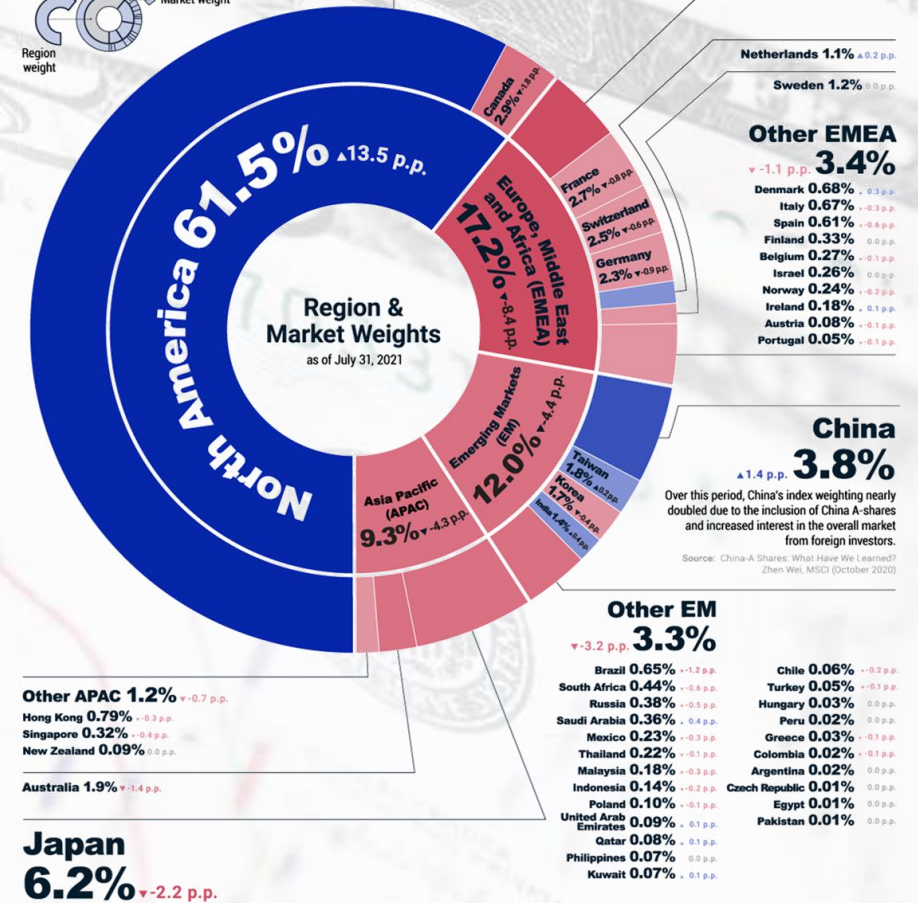


United States
58.6% ▲15.3 p.p.

While U.S. companies have become more dominant within the MSCI ACWI IMI, their international operations mean the index's revenue sources are diversified.
Source: MSCI (December 2020)

UK
4.0% ▼-4.3 p.p.

The UK weighting declined, partially due to Brexit uncertainty and more companies remaining private.
Source: Bloomberg (June 2021)
MarketWatch (November 2020)



意外と多いのではないのでしょうか…



インデックスファンドは既に十分
それだけでは少し物足りないと感じている方



インデックス一本だけで本当に良いのか
と若干モヤモヤしている方



インデックス以外に投資をするなら
何を基準にファンドを選べばいいのだろう

本日のレジュメ

CHAPTER 1

投資方針における
“誤解”

CHAPTER 2

プロの本音と建前

CHAPTER 3

“無知の分散”とは

パッシブ運用≠インデックスファンド

| インデックスファンド (パッシブ運用) | | アクティブファンド (アクティブ運用) |
|--|------|----------------------------------|
| ・市場の指数と同じ値動き | 運用目標 | ・市場平均を上回る成績が目標 |
| ・機械的に指数を構成する 全銘柄に投資 | 投資判断 | ・ファンドマネージャーの手腕 |
| ・運用コスト 低 | コスト | ・銘柄選択の運用コスト 高 |
| ・市場並みの収益しか得られない ・値動きがわかりやすい ・市場全体に銘柄分散 | 特徴 | ・ファンドによって実績に格差有 ・市場を上回る収益の可能性 |

「売買回転率」とは



◆ 売買回転率

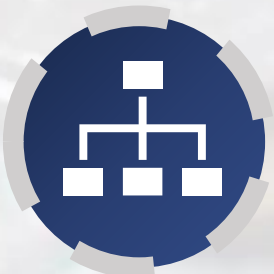
⇒ 投資信託に組み入れている株式や債券を
売ったり買ったりする頻度を表す指標



◆ 売買回転率が

⇒ 低ければリスクを抑える傾向にある投資信託

高ければ積極的にリスクを取りにくい傾向のある投資信託



✓ 株式や債券を売買すれば当然コストがかかる

⇒ この数値はファンド全体の収益性に影響

代表的なグローバル株式運用戦略の保有期間上位10銘柄 (2020年12月末時点)

| 銘柄 | 国・地域 | 投資開始年月 | 保有期間 | 株価騰落率 |
|----------------------|--------|----------|---------|----------|
| アトラスコプロ | スウェーデン | 2005年5月 | 15年7カ月 | 828.90% |
| マーケル | アメリカ | 2005年5月 | 15年7カ月 | 202.40% |
| ムーディーズ | アメリカ | 2005年5月 | 15年7カ月 | 570.80% |
| アンセム | アメリカ | 2005年5月 | 15年7カ月 | 382.80% |
| 台湾積体回路製造 (TSMC) | 台湾 | 2006年1月 | 14年11カ月 | 955.60% |
| EOGリソースズ | アメリカ | 2006年7月 | 14年5カ月 | 34.50% |
| フィナンシエール・リシュモン | スイス | 2006年12月 | 14年0カ月 | 113.30% |
| リッチー・ブラザーズ・オークションアーズ | カナダ | 2007年7月 | 13年5カ月 | 220.00% |
| ナスパース | 南アフリカ | 2008年4月 | 12年8カ月 | 2678.90% |
| アルファベット | アメリカ | 2008年9月 | 12年3カ月 | *774.0% |

「パッシブ運用」と「インデックス投資」と「インデックスファンド」

- 1) パッシブ運用とは「受動的」な運用を指す
 - ✓ 利益確定を目指して売却したり損失回避を目的に売却はしない
 - ✓ 上昇しても下落しても一貫して「持ちっぱなし」
- 2) インデックス投資（運用）は、インデックス指数採用銘柄を買って長期保有し続けること
 - ✓ 原則「バイ・アンド・ホールド」
 - ✓ 結果としてインデックス投資はパッシブ運用になる
- 3) インデックスファンドは、インデックス指数採用銘柄を投資先としているファンド
 - ✓ インデックス投資なのでパッシブ運用

投資家に対して、低コストのインデックス投資を常々推奨している?!



ウォーレン・バフェット

生年月日：1930/8/30

職業：投資家、経営者

純資産：470億ドル（2010年）

世界長者番付の1位になるような大富豪だが、質素な生活をしている。慈善団体に巨額の寄付をしていることでも有名。

バークシャー・ハサウェイ（Berkshire Hathaway Inc.）の2013年の株主レター

「私のアドバイスは、妻に遺言している同じ方法を行うことだ。

それは、

10%を米国短期債

90%を超低コストのS&P500インデックスファンド（私はバンガードを勧める・・・）

に投資をしなさい。

その長期的な結果は、高額なファンドマネージャーを雇用する年金基金などよりも良いだろう」と伝えている。

バフェットはパッシブ運用



ウォーレン・バフェット

生年月日：1930/8/30

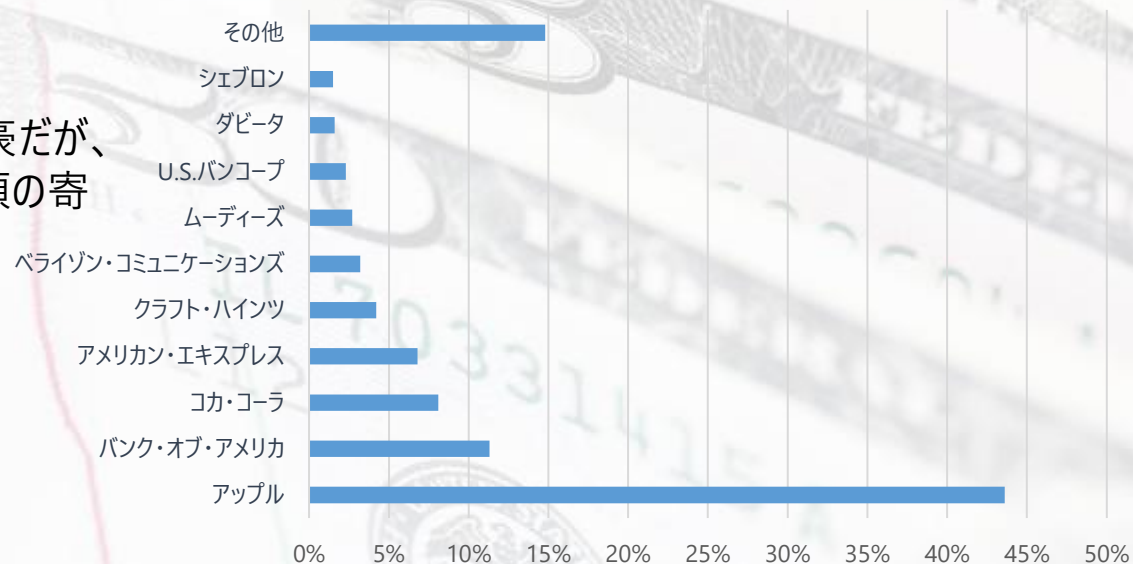
職業：投資家、経営者

純資産：470億ドル（2010年）

世界長者番付の1位になるような大富豪だが、質素な生活をしている。慈善団体に巨額の寄付をしていることでも有名。

- ・優良銘柄への超集中投資
- ・買ったなら売らない（超長期保有）

バフェット・ポートフォリオ（2020年12月末時点）



短期に売買する投機スタイルではなく、徹底した長期投資

分散投資

資産（銘柄）の分散

外国債券

リート

国内株式

国内債券

海外株式

特性の異なる複数の資産を組み合わせる

地域の分散



特性の地域や通貨を組み合わせる

時間（時期）の分散



購入時期を分散する

代表的な株価指数

| | 算出開始 | 対象銘柄 | 銘柄選定基準 | 特色 |
|--------------------------------|-------|--------------------------|------------------|-------------------------|
| 日経平均株価 | 1950年 | 東証1部の主要225銘柄 | 流動性、業種、バランスなど | 日本を代表する株価指数 |
| TOPIX | 1969年 | 東証1部の全銘柄 | — | 機関投資家の多くが利用 |
| S&P500 | 1923年 | 米主要500銘柄 (505銘柄) | 財務データ、流動性、時価総額など | 米国の主要指数 |
| MSCI オール・カントリー・ ワールド・インデックス | 1969年 | 先進国と新興国の 49カ国約2,480銘柄 | 流動性、時価総額など | 世界全体の株価動向を知るのに広く利用されている |

バフェットはパッシブ運用



ウォーレン・バフェット

生年月日：1930/8/30

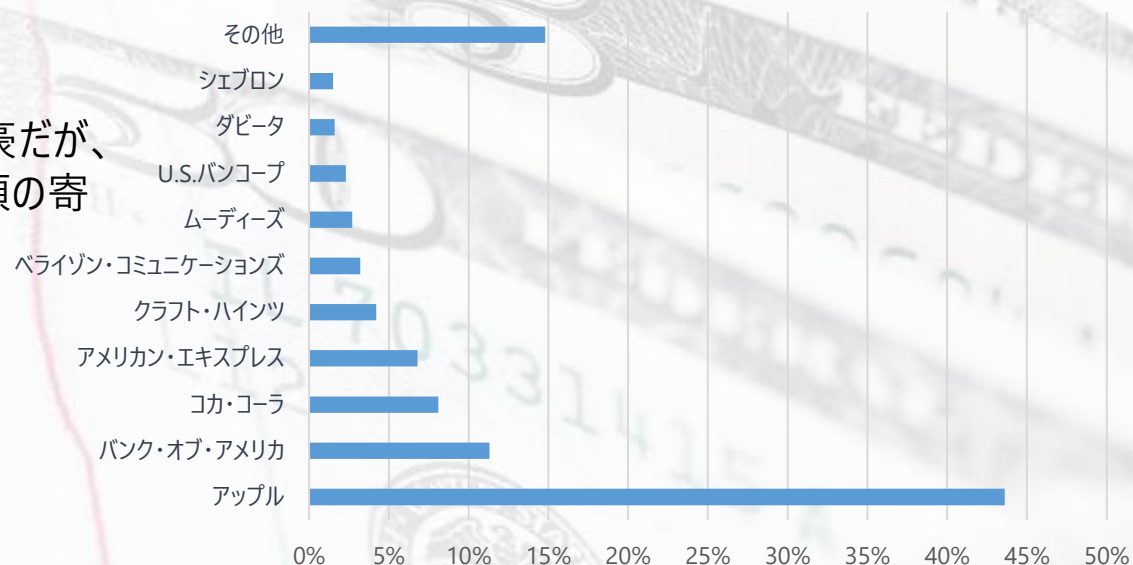
職業：投資家、経営者

純資産：470億ドル（2010年）

世界長者番付の1位になるような大富豪だが、質素な生活をしている。慈善団体に巨額の寄付をしていることでも有名。

- ・優良銘柄への超集中投資
- ・買ったなら売らない（超長期保有）

バフェット・ポートフォリオ（2020年12月末時点）



短期に売買する投機スタイルではなく、徹底した長期投資

“分散投資は無知を保護する手段だ。
投資を理解している人にとって、分散投資は理にかなっていない”

代表的な株価指数

| | 算出開始 | 対象銘柄 | 銘柄選定基準 | 特色 |
|--------------------------------|-------|--------------------------|------------------|-------------------------|
| 日経平均株価 | 1950年 | 東証1部の主要225銘柄 | 流動性、業種、バランスなど | 日本を代表する株価指数 |
| TOPIX | 1969年 | 東証1部の全銘柄 | — | 機関投資家の多くが利用 |
| S&P500 | 1923年 | 米主要500銘柄 (505銘柄) | 財務データ、流動性、時価総額など | 米国の主要指数 |
| MSCI オール・カントリー・ ワールド・インデックス | 1969年 | 先進国と新興国の 49カ国約2,480銘柄 | 流動性、時価総額など | 世界全体の株価動向を知るのに広く利用されている |